

「門川町庁舎跡地活用基本構想（案）」に係るご意見とそれに対する本町の考え方

○意見募集期間：令和4年2月7日～2月25日

○意見提出数：2通（電子メール：2通）

公表した計画	門川町庁舎跡地活用基本構想（案）
趣旨	<p>庁舎跡地及び建物の有効活用に関して、これまで町民アンケート調査や庁舎跡地利用検討委員会で審議・検討を重ねてまいりました。この度、同委員会より「門川町庁舎跡地活用基本構想（案）」の答申が行われました。</p> <p>町では、この答申内容を踏まえ、町民の皆様のご意見を求めるパブリック・コメント等を経た上で、「基本構想」を策定することとしております。</p>
意見の内容	<p>以下のとおりです。ご意見の一部の固有名詞など個人名などが特定される記載や情報については、公表を差し控えています。また、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。</p>

ご意見の要旨（原文）	本町の考え方
<p>水族館で、門川町の魚類多様性を全力でアピールしたい！</p> <p>前庁舎活用に関して、門川町が有する豊かな水圏環境の認知をより多くの方に知ってもらいたいと思い、意見を送らせていただきました。</p> <p>ここ数年で門川町周辺の水圏環境の豊かさや魚類の多様性が明らかになってきました。今年度完成した魚図鑑は全国の魚好き・生き物好きから好評で、門川町の魚を実際に見に来たいと多くの方から連絡が来ています。</p> <p>また、庵川の漁師が毎日集めている、市場には並ばない魚たちを集めた冷凍袋は SNS で非常に注目され、全国各地に発送されております。これらのことから門川町の特異な水圏環境に出現する、魚類をはじめとした水生生物は他の地域では珍しい物だと考えられます。さらに図鑑出版後も毎日のように他地域ではめったに見れない魚や初記録の魚が獲れ続けていることから、これらを用いた門川町の PR ができないものかと考えました。</p> <p>そこで私からの提案ですが、小規模でもいいので旧庁舎で水族館のようなことができないかと考えました。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p> <p>水圏環境の豊かさや多様な魚類等の地域資源につきましては、構想案（P.12）でも本町の可能性の一つとして整理しているところです。</p> <p>これらの地域資源を活かし、活用ビジョン（案 P.22）「人との交流が生み出す豊かさを未来につなげる場所」につなげていくことを考えております。</p> <p>また、SNSなどを活用した情報発信は、有効な手段だと認識しております。</p> <p>今後、サウンディング調査等の民間事業者等の意見募集において、具体的な活用の提案を求めてまいります。いただいたご意見も含め、事業実施の参考とさせていただきます。</p>

漁師さんをお願いして、珍しい魚などを入れた水槽を展示することで、まずは地元の方から門川町の海の楽しさを知ってもらい良い場所になるのではないかと思います。

さらに直接来ていただいた方限定で、水槽の魚を飼育用に安く購入できるようにして、SNSで珍しい魚が入るたびにPRしていくのも良いかと思いました。

現在、感染症等で県外から来づらい状況にあるからこそ、SNSなども活用した、新しいスタイルの水族館は面白いかなと思います。

同時に、これまでの出版物を含むグッズ等を閲覧・購入できるスペースもあるとなお良いかと思っています。

旧庁舎跡地の利用について、「人との交流が生み出す豊かさを未来につなげる場所」という考え方はよいと思います。具体的にここで何をするかということについて私の意見を述べさせていただきます。

旧庁舎跡地に関しましては、郷土門川を知ることができる、または学ぶことができるスペースになればよいと考えております。

すなわち、①門川の地理、環境、歴史、文化、産業について知ることができる展示スペース、②門川の物産・出版物を購入できる購買スペース、および③各専門の講師が来て授業またはイベントができるようなアクティビティスペースがあるとよいと考えております。

①は門川の基礎情報を得ることができ、②は門川を実際に楽しむことができ、③では門川に関するより直接的な交流、情報提供の場になるかと思えます。①に関しては漁協などの協力を得て、水槽展示スペースなどを設けて小型の水族館とすることで、地域産業の振興にも役に立つのではないかと考えます。

建物につきましては、維持管理の諸々の負担を考え、複数階の建物は避け、各スペースに必要な平屋だけを用意し、残りは広場とすることで、駐車場や販売・その他イベントに流用できるようにしておくのが無難かと感じました。運営に関しましては、民間と行政が分担する形で進めることができればよいのではないかと考えております。例えば、販売スペースは民間で、展示とアクティビティのスペースは役場で管理し、門川の活性化に熱意のある若者（高校生以上）が展示管理や販売などのアルバイトなどで働けるようにすることで、地域振興に携わる若手の育成の場にもできると考えます。大学生・院生であれば、より専門的な展示にも関わられるかと思えます。将来的にこの場所が未来を担う若手が自由な発想のもとに活躍できる場となれば嬉しく思います。

貴重なご意見ありがとうございます。

庁舎跡地の活用にあたっては、「人との交流が生み出す豊かさを未来につなげる場所」（案 P.22）の活用ビジョンに基づいて、進めたいと考えております。

ご意見にあります、門川を知ることができ、学ぶことができる展示・購買・アクティビティスペースについては、門川を楽しみ、交流、情報提供、地域産業の振興など、本構想案の活用ビジョンを実現するために必要な機能の「特産品が買え、多機能に活用できる場所や、門川の魅力を発信し、感動と体験を生む場所」（案 P.19）に繋がる良い考えだと思えます。

また、平屋や広場の建物の機能・構造の提案については、「大きなハコモノを作らず、コンパクトで、柔軟に変化に対応できること」（案 P.21）にもマッチしており、具体的な案が示された段階でご意見を参考にさせていただきます。

官民連携による運営の提案については、「民間活力の導入」（案 P.22）にもマッチし、コスト削減はもとより地域活性化も図れ、効率的・効果的な施設運営に繋がるものと考えます。

また、ご意見にあります、地域振興に携わる若者の育成は、本町としても重要な観点であると考えており、「若者が集い交流とビジネスが生まれる場」（案 P.20）になることを期待しています。

今後行われる民間活用事業者の募集において提案を求め、いただいたご意見も含め検討のうえ、事業実施の参考とさせていただきます。